

ICTで 研修をDX!

学年 教職員 教科 など 教職員研修

ICT端末がつなぐ埼玉県×全国!!

使用するアプリケーション等
・Google Classroom
・Google Meet
・Zoom
・Google Jamboard

DXする題材	研修「校内研究」
DXのねらい	「情報活用能力」について、遠隔地の有識者から話を伺う。

ICTを活用することで できること

- ①【人】「遠隔地」にいる有識者(指導者)の方に研修を行なってもらうことができる。
- ②【場】先方に本校まで、わざわざ来ていただくなくてもすむ。
- ③【金】本校も移動費、宿泊費がかからなくてすむ。
- ④【物】資料、指導案等をインターネット上でやり取りできる。

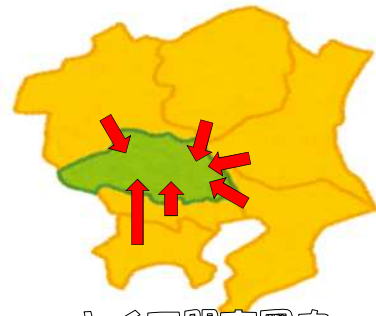
DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

● 有識者(指導者)の方は、「県内」もしくは「近県」など物理的に可能な距離に限られる。



基本は埼玉県内

有識者(指導者)が限られる!!



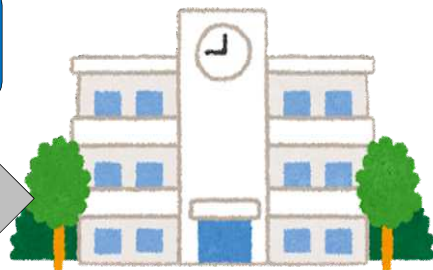
よくて関東圏内

● 先方に来ていただくときに「交通費」「宿泊費」等が発生する。



費用がかかる!!

交通費・宿泊費



DX!

DX後

◎ 「全国」の優れた有識者(指導者)を招聘、全国区の実践を学べる機会を得ることができる。



全国の有識者(指導者)から学ぶ機会が得られる!!

本校はNHK for Schoolで多数の番組(もやもや屋、u&i、Eゴビート2)を制作・監修されている
札幌国際大学 准教授 安井政樹 先生
にお世話になっている。



◎ 北海道⇄埼玉県でオンライン研修会。



交通費・宿泊費等をコストカットできる!!

「Google Meet」「Zoom」を活用し、
①令和4年6月3日(金)16~17時
②令和4年8月23日(火)13~15時
2回、北海道よりご指導をいただき、研修会を行う。

◎ 資料はインターネット上でやり取り。

さまざまな種類のデータをやり取りできる!!

「Google Classroom」を活用し、上記の校内研修の「資料」、右記の研究授業の「指導案」「授業動画」「協議会Jamboard」や「後日指導資料」等をやり取りしている。



事例提供者から (成果・課題・留意点)

- 最先端の有識者(指導者)より、最新の話を含む研修会を行うことができた。
- 端末を活用することにより、費用的なものが最小限で済んだ。
- ICT機器や回線を用いるので、念入りの事前打ち合わせが必要。また当日トラブルに対する対策も必要。
- 研究授業等が生で参観することができないので、当日の状況が伝わりにくい。